

## 生活単元学習指導案

1. 日時・場所 令和元年12月6日(金) 4校時
2. 単元名 「やさいをそだてよう」(全14時間 本時11時間目)
3. 単元目標

- 植物を育てる活動を通して、自然への興味や関心を高めるとともに、その特徴や変化の様子を知る。
- 話し合い活動を通して、伝え合う力を高めるとともに、思い付いたり考えたりすることができるようにする。
- 集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとすることができるようにする。

4. 「ひびきあう三の丸の子どもたち」にせまるために

研究課題「子どもが解決したい問題を持ち、友だちとひびき合いながら学習する子どもの育成」  
手だて・・・子どもの願いや思いを見とった単元構想と授業づくり  
ブロックテーマ「感じる心、気持ちを伝える自分」

### (1) 児童の実態

#### <聴く・話すについての指導>

「話す」力については、意味のある表出言語が二語文にとどまる子や、語彙が少なく自分の思いをうまく伝えられない子など、個々によって様々である。そのため、朝の会や帰りの会のスピーチでは、教師の言葉を真似たり、思い付くままに自分なりの言葉で表現したり、どんな短い単語でも、話が上手にまとまっていなくても、皆の前で「伝える」という活動の積み重ねを大切にしてきた。

自分の気持ちを伝えることのなかった児童が「～楽しかった。」「～美味しかった。」と伝えるようになったり、発表を苦手としていた児童が思い付いたことを嬉しそうに伝えるようになったり、「相手に伝わった」という成功体験が、この半年間の子どもたちの変容・成長を促してきた。

「聴く」力については、多くの児童にとって話の内容を十分に捉えることは難しく、断片的に聞こえる単語を繋ぎ合わせたり、話し手の表情を見たりしながら理解しようとしている。情報を得ようという気持ちがあっても、うまく得られない、理解できないという実態があるため、見通しをもつことが難しく、年度当初は活動に参加できなかったり、離席してしまったりといった課題があった。

そのため、「活動には終わりがある」ということを視覚的に示したり、イラストや写真を用いて情報を補ったりすることで、少しずつ落ち着いて学習に参加することができるようになり、教師や友だちの話に気持ちを向けることができるようになってきた。

また、筋緊張が低く、姿勢の保持が難しい児童も多いため、一般的な「聴く姿勢」を追求することは避けつつも、教師が児童と同じ目線で手本を示すことで、正しい聴き方の意識づけを行ってきた。

#### <これまでの関わり合い・ひびき合い>

本学級には、気持ちのコントロールができずに友だちを傷つけたり、集団に入ることができずに活動を拒否したり、人間関係の形成やコミュニケーションに課題のある児童も多く在籍するため、「集団遊び」の時間を大切にしてきた。友だちに関わられることを嫌っていた児童が自ら遊びに誘うようになり、自己中心的な発言の多い児童が友だちの変化や成長に気付いて褒めたりといった、遊びを通しての様々

な関わり合いが生まれている。

また、前期には、生活単元学習で「おいしい梅でお店をひらこう」という学習を行い、お店の名前やメニュー・役割分担など、話し合いを重ねながら準備を行った。交流学习で様々な話し合い活動を体験している児童は、同じ学年・学級の仲間から自然と伝え方を学んでおり、自分なりの考えを発表する姿は、他の児童にとって良い手本となった。他学年が共に学ぶという支援級ならではのひびき合いの姿でもある。

本学級の生活単元学習は、子どもたちと話し合いながら年間の学習内容を決めている。今年度も、「お店を開きたい」、「野菜を育てたい」等様々な意見が出され、子どもたちの学習意欲は高い。しかし、話し合いの場面を苦手とする児童も多く、前期に行った単元では離席してしまう姿もあった。学習への意欲が話し合いの場面にも繋がるよう、どの児童にとっても自分の考えをもちやすい学習問題となるようにしたい。

## (2) 単元と指導

### <単元について>

本単元は、特別支援学校学習指導要領、「生活」の「サ 生命・自然」の3段階「(ア) 日常生活に関わりのある生命や自然の特徴や変化が分かり、それらを表現すること。」「カ 役割」の3段階「(ア) 様々な集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとすること。」「ク 金銭の扱い」の3段階「(ア) 日常生活の中で、金銭の価値が分かり扱いに慣れること。」を扱う。

また、「国語」の「A 聞くこと・話すこと」の3段階「ウ 見聞きしたことなどのあらましや自分の気持ちなどについて思い付いたり、考えたりすること。」「カ 相手の話に関心をもち、自分の思いや考えを相手に伝えたり、相手の思いや考えを受け止めたりすること。」を扱う。

この単元では、野菜を栽培するという活動を通して体験的に植物や季節の変化を知るとともに、子どもたちの興味・関心に基づく共同的な活動を展開することで合科的な学習へと内容を深め、主体的に関わり合う力を育てることをねらいとしている。

栽培する野菜は、子どもたちから様々な意見が出された。そこから、植える時期や育てやすさを考慮しながら子どもたちと話し合い、3種類の野菜に絞った。数を限定することで、何を育てているのか、活動への理解を深めることができるよう配慮した。

子どもたちは、昨年度までの学習経験から、収穫した野菜を家に持ち帰ったり、皆で調理して食べたりといった収穫後の活動へも期待感を持っている。土おこしや苗植えの段階から収穫を楽しみにする児童も多く、収穫後には「持って帰りたい。」「お母さんにも食べさせてあげたい。」と、喜びを共有しようとするだろう。

また、今年度前期には「おいしい梅でお店をひらこう」という学習を行っている。5月に収穫した梅を使って調理を行い、それを保護者にふるまった。自分たちだけで味わうのではなく、沢山の人たちに食べてほしいという思いから実践に至ったものである。この経験から、子どもたちからは、「みんなにも食べさせてあげたい。」「前みたいにお店を開きたい。」という声があがるのではないかと考えた。

休み時間になると自発的に見立て遊びを行う児童も多く、その遊びを通して人との関わり方や言語を習得している。本学級の児童において、「お店」はコミュニケーションの素地を養う遊びであるとともに、子どもたちが主体的に取り組むことのできる活動でもある。本単元では、自立活動との関連も図りながら、実態に合わせた個々の目標を設定することで、一斉学習における見立て遊びを、各々にとって意味のある活動にしたい。

また、単元を通して、友だちとの話し合いによって自分たちのお店が形づくられていく過程を経験したり、集団のなかで自分の役割を果たしたりすることで、一人ひとりが満足感や達成感を味わうことのできる学習となるようにしていきたい。

### <指導について>

野菜を育てるという活動は、土おこしから収穫までの期間が長く、見通しの持ちづらさを感じる子どもも多い。そのため、それぞれの野菜の苗を植える時期や収穫の時期について、「5月になったら植える」、「10月になったら収穫する」と事前に伝えることで、学習への期待感を持ち続けることができるようにしてきた。

また、本学級の子どもたちは、収穫前から「どうしよう?」、「何を作ろう?」と思いを巡らせ、収穫後の活動についても様々な意見が出ると考えられる。その興味や関心を単元の最後まで持ち続けることができるよう、子どもたちの想いを形にしながらも、学習期間が長くなりすぎないように配慮したい。

「お店をひらく」という活動が皆の目的として定まった後は、前期に行った「おいしい梅でお店をひらこう」の学習を振り返らせることで、お店の名前や必要な準備等、子どもたちから自然と声があがるようにしたい。本時の学習問題、「**「どんなしごとをしよう?」**」では、活動についての話がさらに具体的となり、一人ひとりの期待感が高まるだろう。お店を開くためには、席を案内したり注文をとったりといった、様々な仕事が必要であることを、子どもたちはすでに経験してきている。「レジの仕事をやってみたい」、「前は注文をとる仕事をしたから、次は料理を作る仕事がしたい。」など、一人ひとりが自分の思いを強くもつことのできる場面であると考えられる。

しかし、本単元では、新たに1年生が学習に加わり、話し合いの場面における聴く、話すの実態にさらなるばらつきが考えられる。板書等の遠くのものから視覚的な情報を得ることの難しさや、言語理解の難しさ等、児童が抱える様々な困難さを踏まえて、次の3つを手立てとして行いたい。①5、6人の少人数に分かれて話し合う、②小さなホワイトボードを用いて話し合いのテーマを手元に示す、③写真やイラストを用いて話し合いの過程や結論を視覚的に捉えやすくする。これらを話し合い場面における基本の手立てとすることで、学習問題が全員のものとなるようにしたい。

また、本時には、「どんなしごとをしよう?」という問いに対し、一人ひとりが自分の考えを表出するとともに、それらを調整することが求められるだろう。そのため、それぞれのグループに「リーダー」を置き、①みんなの考えを聞く、②みんなにわかりやすく伝える、③みんなから「いいね」をもらう、という話し合いの約束を事前に提示したい。その「リーダー」を軸としながら、**「一人ひとりが自分の思いを表出し、それらを共有する姿」**をひびきあいの姿としたい。

個々の指導については、個別の指導計画と関連づけた指導目標、手立てを別紙にて示す。

<単元目標>

- 植物を育てる活動を通して、自然への興味や関心を高めるとともに、その特徴や変化の様子を知る。
- 話し合い活動を通して、伝え合う力を高めるとともに、思い付いたり考えたりすることができるようにする。
- 集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとすることができるようにする。

個学タイムでどんな活動しよう

- 野菜を育てたい
- お店を開きたい
- お楽しみ会を開きたい
- お別れ遠足に行きたい

野菜の栽培への興味・関心をもち、進んで取り組むことができる。

それぞれの野菜の特徴や変化に気づくことができる。

調理の仕事に進んで取り組み、簡単な手伝いをするための知識や技能を身に付けることができる。

<1段階>  
写真などを手掛かりにして、伝えたいことを思い浮かべたり、選んだりすることができる。

<2段階>  
簡単な語句から事柄を思い浮かべ、自分の気持ちについて考えたり、伝えたりすることができる。

<3段階>  
相手の話に関心をもち、自分の思いや考えを相手に伝えたり、相手の思いや考えを受け止めたりすることができる。

様々な集団活動に進んで参加し、簡単な役割を果たそうとすることができる。

お店のなかはどうしよう? ⑩

- ・レジはどこでいいかな?
- ・看板はどこに置こう?
- ・料理はどこでつくる?
- ・お客さんの席はどんな形がいいかな?
- ・レジは誰がやる?
- ・レジやりたい!
- ・机は何個必要な?

<1段階>  
自分の役割に関心をもち、教師と一緒に取り組もうとすることができる。

<2段階>  
自分の役割について理解し、教師の援助を求めながら、進んで取り組むことができる。

<3段階>  
自分の役割を果たすための知識や技能を身に付け、自ら進んで取り組むことができる。

どんなやさいをそだてよう? ①

- ・トマト
- ・とうもろこし
- ・さつまいも
- ・キャベツ
- ・だいこん
- ・早く植えたい!
- ・みんなで食べたい

やさいをうえよう ②

トマト      とうもろこし      さつまいも

苗・植ええ 観察

しゅうかくしよう ③④⑤

- ・家に持って帰れる?
- ・早く食べたい!
- ・何つくるの?

持ち帰り

そだてたやさいをあじわおう ⑥⑦

- ・おいしい!
- ・甘い!
- ・全部食べちゃったね
- ・また来年も作りたい

- ・おいしい!
- ・まだいっぱい残ってるよ
- ・スウィートポテトも作りたい!
- ・みんなにはあげないの?
- ・職員室の先生にもあげたい
- ・またお店を開きたい!

さつまいもでお店をひらこう

どんなメニューがいいかな? ⑧

- ・さつまいもチップスつくってみたい
- ・大学芋食べたい
- ・いっぱい作ってみたい
- ・料理はいつ作るの?
- ・(みんなで分担したら作れそう)
- ・(グループに分かれる?)
- ・(お店を2つにする?)
- ・甘いのがいい
- ・全部は作れないよね

お店のじゅんぴ 何がひつようかな? ⑨

- ・看板があったほうがいいよね
- ・お店の名前は?
- ・お客さんの席を用意しなきゃ
- ・レジが必要だね
- ・メニュー表つくらなきゃ
- ・運ぶときのワゴンがあるといいね
- ・店員さんを呼ぶベルはどう?
- ・おしぼりは必要な?

どんなしごとをしよう? ⑪ (本時)

- ・またレジの仕事をやりたい!
- ・前は料理をつくる仕事をしたよ
- ・食べ終わったものを片付ける仕事もあったね
- ・次はお客さんに注文をとりたい!
- ・練習してみたい!
- ・ワゴンで運んだね

さつまいもりょうりをつくろう ⑬

- ・おいしい!
- ・お客さんにも食べてもらいたい!
- ・よこんでもらえるかな

さつまいもでお店をひらこう ⑭

- ・お客さん来てくれた!
- ・おいしかったって言ってもらえた
- ・うれしかった
- ・楽しかった!!
- ・またやりたいな

写真やイラストを提示することで、学習の内容や活動を理解することができるようにする。

選択肢から選ぶ活動を取り入れることで、自分なりの考えを表出できるようにする。

水やりや草むしりを通して、野菜の特徴や変化に気づくことができるようにする。

簡単な蒸かし料理で、収穫した野菜のそのままの味を味わうことができるようにする。

これまでの学習経験を振り返ることで、活動への具体的な見通しをもてるようにする。

2つのグループに分かれ、それぞれでお店を開く方法があることを伝える。

視覚支援教材を用いて、話し合いのテーマや過程、結果を捉えることができるようにする。

グループごとにお店役、お客役を交代で経験し、相互に評価しあうことで、活動への意欲を高めることができるようにする。

れんしゅうをしよう ⑫

- ・うまかったです!
- ・もっと大きな声で言った方がいいかな
- ・早くお店やりたい!
- ・お客さん来てくれるかな

活動の流れや役割分担を掲示し、見通しをもって取り組むことができるようにする。

コメント用紙を用意し、様々な人からの即時的な評価をもらうことで、活動の達成感を高めることができるようにする。

6. 本時の学習

(1) 本時の目標

別紙参照

(2) 本時の展開

| 学習活動  | 主な支援・留意点・【評価】  |
|---|--|
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <input type="checkbox"/> 生活単元学習         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; display: flex; justify-content: space-between;"> <span>さつまいもでお店をひらこう</span> <input type="checkbox"/> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;">           どんなしごとをしよう？         </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 25%;"> <p>1. みんなではなしあおう <input type="checkbox"/> </p> <p>2. 今日のやってみよう <input type="checkbox"/> </p> <p>3. ふりかえり <input type="checkbox"/></p> </div> <div style="width: 45%; text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">さつまいもレストラン</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">注文<br/>(絵)</div> <div style="text-align: center;">😊</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">調理<br/>(絵)</div> <div style="text-align: center;">😊</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">運ぶ<br/>(絵)</div> <div style="text-align: center;">😊</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">レジ<br/>(絵)</div> <div style="text-align: center;">😊</div> </div> </div> <div style="width: 25%; text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">のぞみクリームクッキーチップス</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">注文<br/>(絵)</div> <div style="text-align: center;">😊</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">調理<br/>(絵)</div> <div style="text-align: center;">😊</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">運ぶ<br/>(絵)</div> <div style="text-align: center;">😊</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">レジ<br/>(絵)</div> <div style="text-align: center;">😊😊</div> </div> </div> </div> <div style="margin-top: 20px; text-align: center;"> <p>れんしゅうをしよう</p> <p>↑</p> <p>次時の見通し</p> </div> <div style="margin-top: 20px; text-align: center;"> <p>↑</p> <p>写真カード</p> </div> <div style="margin-top: 20px; text-align: center;"> <p>↑</p> <p>写真カード</p> </div> | <p>・前時までの学習をふりかえり、本時で話し合うテーマを確認する。</p> <p>・見通しを持ちやすいよう、視覚支援教材とともに、本時の流れを提示する。</p> <p>・グループごとに、自分のやりたい仕事を選び、写真カードを貼るよう促す。</p> <p>・グループのリーダーには、話し合いの約束を事前に確認する。</p> <p>①みんなの考えを聞く</p> <p>②みんなにわかりやすく伝える</p> <p>③みんなから「いいね」をもらう</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>例「レジをやりたい。」</p> <p>「自分もレジがいい。」</p> <p>「この前、ちょっとしかやってない。」</p> <p>「じゃあ、途中で交代する？」</p> </div> <p>・仕事分担表を作成することで、全員が話し合いの結論を捉えることができるようにする。</p> <p>・話し合いの結果をグループごとに発表し、全員で共有する。</p> <p>【評価】別紙参照</p> |